臺灣日日新報 夕刊
十一月二十四日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 臺北市榮町四丁目 發行所 臺灣日日新報社 基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

我○○部隊の華々しい奮戰

敵前上陸するや疾風的中央突破

【○○○にて十九日發笹盛特派員】史上空前の大兵團敵前上陸を杭州灣に敢行一擧に松江を陷れ嘉善に進撃せる○○部隊の大進軍に呼應して遙か北方長江を遡江すること二十五浬、十三日拂曉高埔塘口から滸浦口に亙る河岸に堅壘を築ける敵を目前に有史初つて以來未だ曾て無き「艇隊○○」による敵前上陸を行ひ戰史に輝ける一頁を加へたるわが○○部隊の華々しき戰鬪は江南の戰野に怒濤の歡呼を沸かせたものであつた、○翼に高橋、○翼に永津の兩部隊を配し佐藤部隊はこの中央を突破、ひた押しに押して急襲又急追、敵陣を拔く事、實に卅粁、長驅常熟に殺到せる戰鬪振は水際立つたもので眞に壯絕と謂はんか凄愴といふべきか、決河の勢ひであつた、今やわが○○部隊は常熟城を左に見て右に標高二八五米の虞山を指呼の間に望み、支那軍が首都南京防禦の生命線と頼むこの一線を粉砕、虞山山頂高く日章旗を掲げたのだ、○翼高橋部隊の上陸戰鬪に引つづく猛進と共に上海戰史に光彩を放つたものは佐藤部隊の中央突破である、十三日午前九時半雨と降り注ぐ敵彈の中を○○艇から河中へ飛込み河岸に構築せる敵の壕に突入

急襲に次ぐ急襲

でベトン式トーチカ陣地も何のその一擧に粉砕して十五日天明迄には福山鎭から常熟を連ぬる一線呉福クリークの敵の主力陣地李家橋へ迫つたのである、餘りの猛攻急追に砲兵は此大進軍を後から後から追かけるといふ狀態であつた、正に奇襲戰の頂上を行くものといへよう軍主力の戰果の急速なる發展擴大と共に嘉定、崑山、太倉方面から逃ぐる敵の大軍七十萬を捕捉殲滅すべく急遽福山要塞の下流に奇襲的上陸を敢行、實戰としては有史空前の江上艇隊機動上陸を行ひ敵の不意を襲つて文字通り正に疾風迅雷一擧に常熟の堅陣を突破し去つたのであつた、當面の敵は中央軍の精鋭四十師、七十六師、百七十一師、九十八師、七十三師の實に五箇師で虞山に砲十數門を配し常熟の北方呉福クリークを隔ててトーチカを築き、旅順戰の二〇三高地を想はせる防禦陣地に據つて必死の防戰に加へてわが○○部隊の○砲は泥濘の道に惱んで急襲に追つけず降りつづく豪雨と靄に視界全く利かず、空爆も困難を極め戰線は兩三日膠着狀態に入つたが遂に十九日未明佐藤、高橋、永津各部隊は豪雨を冒して猛攻遂に

虞山を占領凱歌

を揚げたのである

更に勇躍わが○○部隊の○翼に○○部隊、○翼に○○部隊と大兵團が空陸呼應して之を潰滅、抗日南京政府の心臓部南京に止めの痛撃を與ふべく將に砲門を開かんとしてゐるのだ福山、常熟を連ぬる線を前進防禦陣地とするならば江陰、無錫の一線は南京防衛の最後の抵抗陣地である、今やその咽喉部を我○○部隊は絞めつけんとしてゐるのだ、虞山頂上にそして常熟城頭高く飜翻として日の丸ははためいた、目差すは無錫だ、わが軍の鹵獲せる敵の野砲八門、迫撃砲四門、彈丸數萬發、敵の死傷千餘、遺棄死體四百、わが方の損害は十八日に判明の分、戰死傷佐藤部隊約○○、高橋部隊○○、永津部隊○○

戰史に輝く一頁

勅令三件公布

【東京二十四日發同盟】二十四日附左の勅令公布さる
一、行政所法施行令中改正の件
一、臨時肥料配給統制法施行期日の件
同二十五日左の勅令公布される
一、臨時肥料配給統制施行令

反逆的な陰謀を英國は援助煽動

支那に於ける英の野心

【ニューヨーク二十二日發同盟】ニューヨーク・デイリーミラー紙外報部長エッチ・ジー・ロボズ氏は二十二日の紙上において支那の内部的不和と英國の野心を剔抉して左の如く論じてゐる

支那軍は日本軍に抵抗ふ貢に依り時折り新な局面を呼び起すかも知れないがその效果は僅少でありそれも漸退して行く一方である、然し何所へ支那を追込んだのは日本軍の爆撃ではなくして寧ろ支那内部の相剋である、紛爭勃發の當初から國民政府及び蔣介石側近の親英派の一味は蔣介石を躍起させしめ同時に支那の大義名分を踏み躙らうと努力したがこの一味は支那人ではあるが英國の後見を受けてゐるものである、彼等は日本軍の勝利を口でこそ認識しないが出來る限り支那軍の統一を妨げるため凡ゆる策謀をなし今日までの所非常な成功を收めてゐる

この陰謀は本質的には反逆と同じで英國はスペインで行つたと同じやうな理由でこの狡猾な陰謀を援助し煽動してゐる、英國はスペインではムッソリニ伊首相の頭上を越してフランコ將軍と手を握り支那では將來支那の分割に關する會議で有利な地歩を占むるやうに企んでゐる

移讓すべき旨答へたと言はる

日本の海關接收を佛は重視

【パリ二十二日發同盟】フランス外務省は日本が上海の共同租界並にフランス租界の海關と郵政權の接收を主張してゐるとの報道を重大視してゐる、當局の意見を綜合すれば次の通りである

租界の主權は支那に屬し行政權は租界國に屬してゐる、日本は合法的に支那に取つて代つた譯でないから軍隊の租界自由通過や支那側の要求する權利はない、支那自身ですら租界の行政には關係なき事を認め日本新聞が租界において發行されるのを我慢した、要するに日本の行動は支那に關する限り對英米、佛、態度を轉換して來た事を示すものと思はれる

時局則應法案の通過成立を期す

議會召集日漸く切迫

【東京二十四日發同盟】第七十三議會の召集も漸く切迫したので各省では議會提出諸法律案の準備を急いでゐるが、來議會は事變下最初の通常議會であり我國が擧國一致長期戰の一大決意を固めて非常の時局に善處すべき重大時局に際會してゐるので、各省提出の法律案も非常の時局に即應するものが優先的に考慮せられ企畫院で立案中の國家總動員法案、厚生省所管の體力國家管理案、内務省所管の國民健康保險法案等に對しては是非ともこれが通過成立を期してゐる

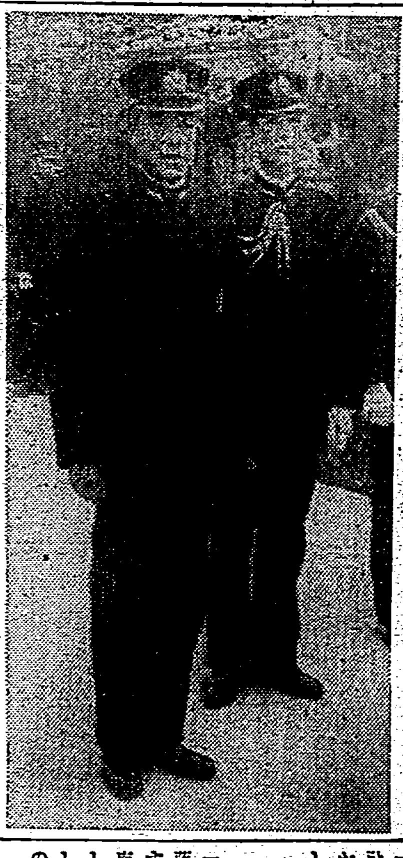
獨逸の要求に回答を保留

英獨會談の内容

【ロンドン二十二日發同盟】英樞相ハリファックス卿はチエンバレン首相の特使としてドイツ訪問の使命を果し二十二日午後六時四十二分ベルリンからロンドンに歸還した、同卿は直ちに首相及びイーデン外相と會見しヒトラー總統との會談經過を詳細說明したが確聞する所によればヒトラー總統は左の要求を提出したと言はる

一、世界大戰の責任がドイツに無いことを承認すること
一、ドイツに對し舊植民地[illegible]
一、外國に於けるドイツ少數民族の運命はドイツが主體的に解決する權利を持つことを認めること

以上の要求に對しハリファックス卿は何等言質を與へず一切を本國政府に[illegible]



來臺の藤田大將(向つて左) 二十三日臺灣神社にて

藤田大將けさ軍司令官を訪問

視察の為來台した軍事參議官藤田海軍大將は鈴木副官を隨へ小澤海軍武官の案内で二十四日午前十時軍司令部に古莊軍司令官を訪問來台の挨拶を述べた

樞府本會議

【東京二十四日發同盟】二十四日の樞府定例本會議は午前十時より宮中東溜の間において開會され、天皇陛下の親臨を仰ぎ滿洲國における治外法權撤廢並に滿鐵附屬地行政權の移讓に伴ふ官制改正及び昭和八年勅令第二百六十八號(朝鮮台灣關東州及び南滿洲鐵道附屬地における學位授與に關する件)中改正の件等外五件を上議し審查報告あつて採決の結果何れも原案通り可決 天皇陛下入御あらせられ十時三十分散會した、尙政府に於ては右御諮詢案の御下渡を待ち閣議で正式決定の上來る十二月一日より實施することになつてゐる

九國會議の無爲は判然

某外人香港で語る

【香港二十四日發】本日香港を通過せる某外人の語る所によれば支那國民政府の躍起となつた泣き落しとその背後の功利的策謀とにより兎も角も會議が開くまでに漕ぎつけた九國會議の前途も日本の特殊地位と強い正義の主張とを諒解せる一般識者を納得せしむるに足るやうな最善の方策を發見するを得ずして結局は彼等の面子を保持する程度でお茶を濁し實質的には全く無為の終幕を見るに至るであらう事は既に歐米一部識者により行はれて居た觀測であるが、果せる哉會議に對するイタリー、シャムの動向は勿論、現に最近米國に於ても民主黨下院議員ロイス氏は大統領に對し「九國會議の情勢を調査し必要に應じて米代表を引揚げしめよ」と建議したと傳へられ又同じく議員ヒットモン氏も新聞記者に對し「九國會議の經過に付ては頗る失望せり、尙米國が中立法を實施せざるは同法の目的が自國の保護に在りて他國への壓迫に非ず、現在の情勢は未だ之を發動して自國を保護するの要なきなり」と語りたる由にてこれ等米國方面の消極的論調によりて見るも世界の輿論が漸次この會議の無力とこれによりて極東事態の收拾せんとしたる事を誤りなりとする傾向に在るを察知する事が出來るのである

新政權樹立を畫策

福建、廣東の匪賊跳梁

【香港二十四日發】福建、廣東兩省における匪賊の狀況は既報の如く愈々惡化し收拾すべからざる狀態に立至つて居る、彼等は村民を襲ひ私財を掠奪し命に從はざる時は火を放つて燒討ちをするので一般良民はこれに耐へ政府に救ひを求めるが、政府は抗日戰に急なる為十分なる取締が出來ず、單に申訳的な剿匪を為すに過ぎざる有樣で甚しきに至つては匪賊の方が逆に官廳を脅嚇すると云ふやうな實情である、現に福建省に在ては[illegible]張、部の兩匪を買收して保安隊として收容したがこれ等の匪賊は政府より受くる給與を自己の勢力の擴張或は地盤の獲得等政治工作に使用し政府の命を奉ぜず、適時暴狀を逞しうして政府を窮境に陷入れ新政權の樹立を畫策してゐるし政府の買收に應ぜざる匪賊は各所に蟠踞し暴虐をほしいままにしてゐる、先日の如きも三百餘名が大擧して陳里を襲ひ政府保安隊との間に猛烈な激戰を交へこれを傳へ聞いた附近の保安隊長は吃驚して自隊の銃器の補充や兵員の増加を政府に要求し防備の強化に狂奔してゐるが省政府は現下の情勢より見て何とも手の施しやう無くただ成行きにまかせてゐる有樣である

次席稅關長に邦人を任命

稅收主任にも邦人

【上海二十四日發同盟】上海が皇軍の手に依り南京政府より完全に隔離され上海に在る支那政府機關は日本側との協力と諒解なくしては最早その機能遂行は不可能な狀態となつたので上海海關ではこの新事態に適應するため今回次席稅關長として現天津海關長明谷田助氏を任命し、又新に稅收主任なる職を設け加藤圭一氏を任命した

米國大使ら漢口へ

【上海二十四日發同盟】米大使ジョンソン氏以下大使館員及び居留民の大部は二十三日正午米艦ルソン號及び他の一艦に搭乘して混亂の南京を後に揚子江を遡航漢口に向け大掛りな移轉を行つた、之に依り南京に在留する外人は僅かに米人二十四、英人二十、獨逸人十一、丁抹人一、計五十六名となつた

米國をけしかけ自分は知らぬ顔

英國の遺口は斯くの如し

【ニューヨーク二十二日發本社特電】ラヂオの時事問題評論家ボーク・カーター氏は二十一日デイリー・ミラー紙上に反日ボイコット運動の裏面を解剖する論文を掲げ左の如く述べてゐる、反日ボイコットに就いては隨分いろいろな話を聞かされるが英國は新らた英國勞働總同盟並に產業別組織委員會の兩勞働團體に對し反日ボイコットを勸誘した、これ等訪問者の功があつたしかし米國勞働團體指導者の良心を麻痺させるには相當效果なマッサージ工作は米國勞働團體指導者が英國の指當者によつて操縱されてゐるにもかかはらず英國では一向日本品をボイコットしてゐない事實を見逃がしてはならない、これは別に不思議ではなく其の解答は極めて簡單である、即ち第一にロンドンのニュースを一覽すれば滿洲政府がチエンバレン首相に對し滿洲は反日ボイコットに參加しない旨通告したことがわかる、滿洲は日本の羊毛輸入額の實に九十五パーセント並に多量の小麥を供給して居り反日ボイコットに依り最近東京で締結された通商協定を瓦解させることを好まないからだ、第二に米國がボイコットを續ければ續ける程米國商權は永久に失はれ、其の代りに英國商業家の懷中が肥えることになる理由である

國府各機關員南京、漢口へ

上海包圍完成して

【上海二十四日發同盟】上海における國民政府各機關即ち市政府、淞滬警備司令部、戒嚴司令部、市黨部などは南市の陷落以來租界内に臨時弁事處を急設し餘喘を保ちつつあつたが皇軍の上海包圍完成に依り其の存在意義を失ひ[illegible]するに至り、之等各機關員三々伍々南京或は漢口に引揚げを開始した、一說に拠れば右各機關の尖鋭分子の一部は上海に殘留して地下にもぐり特務機關として今後の暗躍に備へつつありと云はれてゐる

中央通信上海支社は發行を中止す

【上海二十四日發同盟】中央通信社上海支社は二十三日限り上海における通信發行を中止する旨發表した

孔祥熙豪語

【ニューヨーク二十三日發同盟】蔣介石に代り近く行政院長に就任する事となつた孔祥熙は二十二日南京から重慶への途次漢口に到着したが孔はニー・ビー特派員に對して長期抗戰の用意十分ありと左の如く豪語した

日支戰爭が何時まで繼續するかは問題でない、支那は財政的にも經濟的にも長期戰爭に堪へ得る準備を整へてゐる、政府は南京から重慶へ移るがこれは決して首都としての南京を放棄する事を意味しない、歐洲大戰當時ドイツ軍がパリを脅した際フランス政府は重要官廳をパリから他へ移した例があるではないか

蒙疆銀行創立

【張家口二十三日發同盟】蒙疆聯合委員會は二十三日午前第一回總務委員會を開催蒙疆銀行設立の件を上程可決し左の三條例の發表を見た
一、蒙疆銀行管理に關する條例
二、蒙疆銀行組織條例
三、蒙疆銀行條例
尙蒙疆銀行は十二月一日より營業を開始する

三自治政府が均等出資

【張家口二十三日發同盟】二十三日創設された蒙疆銀行は資本金千二百萬圓で三自治政府が均等出資四分ノ一拂込であるが察南、綏遠、晉北各自治政府及び察南銀行はこれに依り新銀行に吸收せられ舊察南銀行の營業成績は極めて順調で輸出代金の受入れ等で在外資金は極めて豐富で京津地方への送金には何等の支障も來して居らず加ふるに蒙疆地方は輸出品豐富で國際收支は受取勘定となつてゐるので蒙疆銀行の前途は洋々たるものが

その日その日

○上海は、吾が軍政下に在る、この大事實は、何人も拒否又は否定できず、千百の議論を超越する
○佛租界でも、共同租界でも、この事實さへ確認すれば、議論も問題もない、萬事OKであるべき筈
○支那に在る外國の盲聾さまは、とかく南市立案がお好きと見える、上海でも懲りてるクセに
○ソ聯が、飛行機を以て支援の支那を援ける、でも結局は、支那の消耗度が少し増したといふだけ
○やるならもつと堂々と正面からいらつしやい、男らしく……
○速取の結果、首都を棄てて逃げる様な政府を"信頼せよ"とは、支那の政治家らしいトーチカ心臟
○"都を重慶に遷しても、南京放棄で無い"とは、何のこと、新行政院長先づ泛語
○冀東北支は、滿洲とは氣候風土も違うし、別の流派で建設したい新機軸を大に多分に見せて
○この台湾に、一億円からの金が動く、他に比し一大發展、この經濟力活用か、改めて別個の問題

人事

▲永井淸次氏(日糖重役)[illegible]二十五日[illegible]上京
▲梅野淸太氏 二十三日來北(鐵道ホテル)
▲淡田剛助氏 二十四日内地より歸臺
▲伊藤四三郎氏([illegible]部長)▲小野田正榮氏(同[illegible]) 二十四日來北(鐵道ホテル)

無絃琴

★支那の宣傳に乘せられて、日本軍に對する出たらめな中傷記事や寫眞を揭げて來た外國の新聞雜誌などが、漸く此の頃に至つて間違ひであつた事を氣付き、紙上で改めて訂正してゐるといふ醜態さを見せてゐる▲その中の著しい一つの例を次に紹介する、巴里で發行されてゐる例のイラストラシオン誌は、九月十一日號で上海南京路のパレスホテルに落ちた爆彈を日本軍のものとして報道し其の爲に死んで路上に倒れてゐる支那人の姿など慘憺たる光景を映してゐるが、吾が外務省では此の眞實を過る報道に對し抗議したものらしい▲所が十月二十二日發行の同誌上には九月號掲載の記事が過失であつてアレは支那空軍の落した爆彈であるといふ事を一段一寸も費して堂々と訂正してゐる、そしてご丁寧にも前に揭げたパレスホテル爆破の寫眞をもモウ一度掲載してゐる▲同誌の言ふ所によると、九月號の記事掲載について日本の抗議は有つたが吾々にアレは日本軍の爆彈だといふ確信が有つたので其儘にして置いた、所が其後わが社が調査する所によると右は日本空軍が落したものでなく全く支那空軍のものである事が判明したので、茲に改めて訂正する――といふ男らしい堂々たる訂正振りである▲逆宣傳で一時はゴマ化しても世界の公論まで永く通らして置く訳には行かない、こんな調子で今日までのウソ出鱈目宣傳はドシドシ化けの皮が剝げて"信頼そのものである支那の眞骨頂"だけが著しく世界人の眼に著いて來る結果とならう。笑止千万。

獨大使の祝賀會に秩父宮殿下御成り

あす防共協定記念日

【東京廿四日發同盟】廿五日の日獨防共協定成立一周年記念日に當り我國は友邦獨逸と共に慶びの祝杯を擧げるが帝都に於いても二十五日午後零時三十分頃から獨逸大使館に於けるディルクゼン大使主催の日獨防共協定記念祝賀午餐會に御成り遊ばされ近衛首相以下陸、海、外、內、法五相等も陪席として參列この慶びの日を祝賀する事となつた

蒙境の回教徒起ち防共團結を圖る

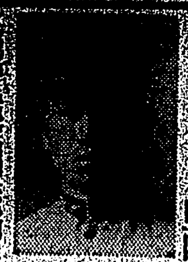
近く綏遠で大會開催

【張家口二十四日發同盟】今次事變を契機として赤色コミンテルンの支那に於ける謀略は益々暴威を逞しうし、これに刺戟された張家口在住回教徒は各地でこれが對策を協議中であつたが愈々近く綏遠に於て各地代表五千名參集の下に防共教徒團結の蒙疆地方回教徒大會を開催することとなつた

常熟で壯烈な戰死

柿元少尉、光永曹長、村田曹長

佐藤部隊の步兵少尉柿元廣氏は十七日、同步兵曹長光永末雄氏は十八日、高橋部隊の步兵曹長村田辰氏は同月十八日何れも常熟附近の戰鬪に於て敵陣に壯烈なる戰死を遂げた旨夫々原隊より發表された



三屋少尉戰死す

山西省涼縣の戰鬪で

元臺北州勸業課長三屋靜氏の長男後備步兵少尉三屋〇〇氏は〇〇部隊に屬し北支戰線に轉戰中の所十月二十四日山西省涼縣附近に於て部下〇隊を率ゐ敵陣に突入しその儘行方不明となつてゐたが後日同地占領の際部下四名と共に壯烈な戰死を遂げてゐるのを發見された旨臺北市文武町三ノ三の遺族に部隊長より通知があつた、同少尉は昭和八年三月臺北一中卒業後士官學校に入學、本年六月同校卒業去る八月戰地で少尉に任官した許りの颯爽たる青年將校であつた、嚴父靜氏は目下京中で、原隊を訪れてこの報を知り近く遺骨を受取つた上歸台する、留守宅にウタ子夫人(四二)を訪へば

平生無口で眞面目一方のむしろ內氣な子供でしたが中學五年の頃から滿洲事變で軍人を志望し出し望み通りに行つて嘸本人も滿足して死んだ事でせう、別に將長とてない子でしたが親に早く別れる運命であつたためかとても親思ひでした、私共としてはかねて十分覺悟の上の事でございます

と落着いて語つた、なほ同君は一人息子で外に既に嫁いだ姉さんと臺北一高女在校中の妹さん二人がある、本籍は東京市小石川區竹早町である、なほ最近の手紙には、北支で活躍する皇軍が如何に食物で苦勞してゐるかが窺はれる

(前略)山の中では食物は隨分苦勞し米も屆かず二食分の米に粟を入れて三度にも四度にも食ふ始末です、おかずもなく鹽で過したこともあります、部下はなかなかうまく副食物を作つて食はせます、山の中では馬鈴薯と豚が一番の御馳走です、しかし食ふものがある間はよいのですがどうかすると乾パンだけで過さねばならぬこともあります、(中略)僕の部隊が一番精銳で重大任務の時は何時も先頭第一です、臺灣ももう涼しいでせう、北支も山の中は薄氷がはります、がまだ冬服が渡らず靴の補充もなく苦勞してゐます、慰問袋は一つももらつてゐず對山なあの慰問袋はどこへ行くのかしらと皆も笑つてゐます、支那も愈々敗色濃厚であうすぐ凱歌をあげます(後略)

(寫眞は三屋少尉)

射擊の名手

光永末雄曹長

佐藤部隊の光永末雄曹長は去る十八日常熟の戰鬪で江南の華と散つた旨二十三日臺北市綠住町二四の遺族に公報があつた、同氏は本年三十歲、原隊生え拔きの少壯下士官で仕事熱心で書道を唯一の趣味としてゐた、他面射擊に巧だつた遺族は妻女ヨシノさん(三)との間に民子さん(三)、功君(二)の一男一女があるが功君は末雄氏出征前の九月四日に生れた許りで出發するまで激務に忙殺された同氏は可愛いい長男の顏も一月見た丈で勇躍征途に上つたのであつた、ヨシノ夫人を訪へば驅けつけて來た同町一〇の末雄氏實兄光氏(四二)さんと公報を受けた許りの取込みの中に交々語る

出征の時は僅か一時間半許りの餘暇しかなくその間に長男の顏も始めて見て忙しく家を發ちました、戰地からは日本刀が役に立つと喜んだ便りが參りまして元氣でやつてゐるとのみ思つてゐました「盧溝事件に出てゐるから自信がある」と云つてゐましたが、本人の弟猶生(三)も臺軍部隊に補充兵として入つてゐます、無口で瞞下手な男でした

なほ同氏の郷里は熊本縣八代郡龍峰村大字岡谷川一一三六である

(寫眞は光永曹長)

常熟へ急進する〇〇部隊

一、愈よ上陸二、中島部隊の〇砲前進三、九里附近にて常熟へ急進する我が〇〇部隊(陸家宅にて)四、佐藤部隊の鹵獲せる敵の野砲　笹盛本社特派員撮影　總督府許可濟

"支那兵を討たん"老蕃の意氣込み

藤田知事の羅東視察談

藤田台北州知事は管下羅東蕃地を一週間に亙り初巡視を終つて二十三日午前二時歸北したが、左の如く感想を語つた

僕が見たのはショウラ、バヌン、シキクン、ピヤナンの四蕃社だが特に今度の時局がどれ丈け彼等に徹底して居るかを見たかつたのだが視察の結果は豫期以上によく徹底して居た、山では督府の情報部のニュースを駐在所の巡查が皆に知らしてやる、彼等は全然雜音の入らない空のニュースしか聞かれないので所謂流言蜚語など云ふものは一ッもない、蕃社の青年男女の半分は軍夫、看護婦の志願者で、慰問金を出す者なども非常に多い面白いと思つたのは老蕃が日本は今勝つて居るからいいが、若し負けるような事があつたら吾吾に鐵砲を貸して貰へれば直ぐ出征して支那をやッつけると語つた事だ、日本が負けさうだつたらと云ふ所が面白いと思つた

精神總動員も非常にうまく行つて居て分列行進、敎練、學藝會などを見たが實に一生懸命で國語も流暢だし、考へも健實で、皇民化は先づ山から…といつた感じを受けた、蕃童教育所も學校と改めてもいいと思ふ、產業方面は土地は狹いが食物は粟、芋、米等豐富に穫れて、特に野菜等はいいものが、いくらでも出來るが、交通機關がないので採算がとれない、自動車道路でも出來れば、苧麻でも高麻でも野菜でもドンドン栽培出來るだらう、ピヤナン越しの道路も僕が見た所では大した難しい事でもないと思ふ

モンスーンに難航

軍艦〇〇入港す

活躍の軍用犬凱旋

【〇〇電話】南支沿岸封鎖の大任を帶び又金門島攻略にも參加した軍艦〇〇は愈々本格的となつたモンスーン殊に數日來の猛烈な時化にぶつかつて鋼鐵艦も木の葉の漂ふ敵そのままに大難航を續けて二十四日朝一ヶ月と二週間振に基地〇〇に入港して來たが同艦には曾て〇〇で勇敢な征途に上り某方面で活躍してゐた台北民間飼育の軍用犬のクルタ號ヘルド號の二頭が多大の效果を納めて元氣一杯凱旋して來た

樽酒を積んで

高砂丸入港

【基隆電話】二十四日午前十時半基隆に入港した高砂丸は総乘客六百四十名、一等の半數は海軍將校〇〇で外は軍司令部附岡田中佐、督府中村法務課長、富島組家阪專務、ト組寶關營業部長、台北桑田商店主、大谷光瑞、廣瀨秘書の諸氏、又木村氏引率の警官練習所入所生百六十八名も來台したが同船では御正月用の第三回入荷たる白鶴の樽酒百七十四樽も芳醇な香りを漂はせてゐた、中村法務課長は

恒例による司法省との諸事務打合の為め上京したまでで何の御土產もない、司法關係の增員は目下審議室で案を練つてゐるから孰れ決定を見ることであらうと語つてゐた

避難民嬉々として我が家へ歸る

皇軍の恩威に蘇州平靜に復す

【蘇州二十三日發同盟】皇軍占領地帶の良民は戰鬪期間中何處へか避難してゐたが最近隊を組み續々と歸郷しつつあり崑山、蘇州間の鐵道線路及び自動車道路には之等避難民が絡繹として續いてゐる彼等は大抵日章旗を先頭に立て腕に日の丸の腕章を附し數人或は數十人が一團となり家財道具を手に老若男女の別なく我が家を指して嬉々としてつつある、斯くて戰禍に見舞はれた地帶も皇軍の恩威並び行はれる秩序維持により漸次平靜に復しつつある

四人を續々戰線へ

濟南方面の防備戰

【天津二十四日發】打續く多大の損害に愈々補充の途つきたる支那軍は濟南方面に於て四人を解放しこれを第一線に補充して防備につとめて居る、支那軍は貯蓄や食糧の集りだから逃げ足も早く設定の際の陣構もひどい訳である

冬蜜夫人に懲役

控訴審も有罪の判決

第一審台北地方法院刑事合議部で裁判長宮崎判官まで審理、被告の郵張氏冬蜜(三)外一名にかかる詐欺の有罪判決に不服控訴した新竹の郵張氏冬蜜氏の控訴審は、かねて高等法院覆審部大伺裁判長係りで審理中の所、遂に二十四日有罪か無罪か注目を惹ひてゐたが、斷罪の第六回公判は二十四日午前十一時十五分開廷、被告人等が固唾を呑む裡に大伺裁判長は原審通り判決を言渡した

懲役一年(原審未決通算二百六十日算入)　郵張氏冬蜜

懲役一年六ヶ月(原審未決通算二百六十日算入)　黃金水

懲役十ヶ月(原審未決通算二百六十日算入)　曾水龍

判決言渡し終るや冬蜜夫人は感極まつて「承服出來ぬ」と一聲絕叫して忿懣やるかたない面持で退廷した

由る馬場助教授の鑑定の結果は被告人に不利と傳へられ、更に申請した再鑑定、現場檢證、三十數名に及ぶ證人喚問申請は全部却下となつたが、弁護人側は依然本事件を目して檢察官の創作なりとする見解を堅持し、さきに十一月五日立會上瀧檢察官は「附帶控訴をしたい程だ」と論告原審通り求刑したに對し、古屋、神村、橫山、鼓井川の各弁護人は二日間に亙り論陣を張り無罪を强調し、果して有罪か無罪か注目を惹ひてゐた

北京官話講習會

台灣大亞細亞協會では時局柄北京官話の必要を痛感し同講習會を開く事となつたが期間は十二月一日より來年一月末日迄、場所は市內東門町台北中學校內、詳細は市內表町大成火災ビル內の同協會に照會されたいと

農林學校の設置を陳情

苗栗街の有志

【新竹電話】宇佐美苗栗街長外有識者十六名は二十四日朝來新州廳に赤堀知事、森田內務部長、梅谷地方課長、堀敎育課長等を訪問、農林學校の設置に付ては苗栗街も考慮の中に入れておいて貰ひたいと陳情をなした

鐵道部から古鐵を盜む

台北市太平町五秋英(二)は去る八月から本月中旬まで數回に亙り鐵道部構內から古鐵類價額約八百円を竊取したこと發覺、北署で御用となつた

山東丸より(來航)

晴れ北の風強し二十五日午前六時港外着豫定(二十四日着無電)

あすの天氣

臺北地方	東の疾風曇小雨
北部地方	北東の疾風曇小雨
東部地方	北東の疾風曇小雨
西部地方	北の疾風曇
南部地方	北の疾風曇

今晚の映畫

◆タイゲキ　妻十二時半上映
1 三回目ニュース劇場　午後六時四分
2 四回目　同　八時五分

◆大世界館　妻十二時半上映
1 ああそれなのに　午後四時〇分
2 女よ男を裁け　八時二分
3 寫眞日ニュース・タイムス　大阪朝日ニュース・支那事變特報　九時四分

◆國際館　妻十二時半分上映
1 四つの戀愛　午後五時(一分)
2 明朗色時代　八時一分
3 寫眞日事變ニュース・朝日世界ニュース　十時九分

◆芳乃館　妻十二時半分上映
1 寫眞日ニュース　午後六時〇分
2 大毎全滿戰攻略・みだれ島田　七時五分
3 大毎ニュース(支那事變)九二五分
4 祐天吉松　八時四〇分

◆新世界館　妻十一時上映
1 バ社ニュース・バ社ニュース5857報　午後七時〇分
2 血吹雪峠　十一時五分
3 若き日の一頁　八時十分
4 木遣唄一番纏　九時十分

臺日案內

料金　三行　五回　七行　十回　十五行　以上　十九回　二十五回　一回　五四　八一

內地土產　名物 芭蕉煎餅　下江商店　榮町三ノ九　電話二九一六

樂器　白柚とジャボン　臺北市本町二ノ五　藝妓衣屋

寫眞　中古オルガン　高價買入　臺北千歲町　河合　電二〇三〇六

時計眼鏡　カメラ中古品高價買入　臺北市京町二　南光寫眞館

料理屋　和田はメガネ專門　臺北本町通り　電六五〇番

メガネ專門 金光堂　學生優待　兒玉町　電話九九八番

金融　大衆向き宴會大勉強　魚文　鄭通り　電二五一八

生そば壽司 辨金京町店　電六四番九四

電話(新舊)商品券 買入　榮町二ノ四　(電話〇六八)　池田屋

小口月賦金融 官公署の御方に　西門市場裏中城　電四九七

洋服　新着子供服　臺北 日進 マーケット

藥種商　喘息にワンカ　服んで直く效く　北市榮町四ノ二　藥局　元氣田村子

肺炎で御困りの方は先づ一服　ゲンチール　臺北南門　愛國局　電二五六二番

蔘精は活力の素　臺北 愛國人參エキス有名藥店にあり

蔘精は　臺灣總代理店は　臺北藥局製

蔘精　二〇五錢　壹圓五〇　臺北本町三ノ六二　藥局

雜件　冬シャツ靴下 村井　其他冬物衣類　電話

買流洋服と古着　臺北市新起町一ノ一　電六二八二

秋植種子着荷　臺北市場前 田中種苗店

フスマ張替　表町二丁目

純秋田犬　仔犬分讓　臺北市大和町四ノ九　南方莊

犬の病院　臺北市大和町四ノ九　南方莊

通信教授 バイオリン尺八 ギター、マンドリン、ハーモニカ、三弦線、以上各科月謝　福岡市中島町　大日本音樂會

家庭と婦人

非常時婦人服コンクール(六)

これは共に小櫻洋服教習學校小櫻葉子氏の作、1は一見普通の和服用事務服ですが、2はその非常時姿で、見るからに凜々しい姿となります(値は三円五十錢程度です)

時局突破のため 國民自給生活案(上)

五箇年間國民生活の强化を圖れ

四 社交儀禮の改善

一 冠婚葬祭の簡易化、實質化 町村内申合せにより葬式の簡易化、實質化を圖ること、共同用具を設備し各自備付を廢すること

二 各種宴會、忘年會等の改善 これらの會合はなるべく中止或は會費制度にすること

三 贈答の改善 中元、年末、年始、冠婚葬祭、七五三等における贈答品の廢止又は簡化

四 訪問の改善

五 郵便通信の改善

六 年賀状の廢止又は節約その他 出征軍人見送りの改善 見送り方法は町村内申合せにより一定し華美に流れぬ様に致すこと、その他

五 體力增進

一 健康法に關する一人一研究又は一事實行 冷水摩擦、日光浴、節酒禁煙、間食廢止、早起、深呼吸等

二 主婦勞働の定期勵行

三 都市における公衆食堂の公營

農繁期の託兒所、町村會における生活改善事業經營、町村における料理研究所、主婦會、有識婦人、婦人會による献立の合理化による營養、合同炊事による無駄排除、町村内食料品の需給狀況調査と自給計畫の樹立(農會と提携)

郷土に即した標準献立の作製配布、共同炊事の實施奨勵並指導、榮養講習會又は疾病者に對する食事指導、姙婦又は乳幼兒の指導、食料品の共同購入斡旋(産業組合と提携)

以上の如き案で、新興生活館ではこれが實行徹底と普及の為全國的に運動をつづけることになりました。(完)

砂糖の害はヴィタミンBで中和

乳製品も心配はない

肥胖になる原因は多く甘味ある食物、即ち砂糖を多く攝るものに出來ることは多くの人々が承知のことです。この外にも砂糖を餘計に攝ることによつて種々の弊害を生ずるので、砂糖の過食は愼しまねばなりません。といつて、糖分を攝らなければこれも又體に悪いことは申すまでもありません。

ところで最近の學說では、砂糖の害はヴィタミンBを攝ることで防げるといはれてゐますからさう心配はいらないわけです。

……◇……

ですから、砂糖をとかく多く攝る子供にはヴィタミンBを含む食物を與へることによつて、砂糖の害が甚しく中和されるのでありますから、その害を防いでゆくやうにすればよいわけです。

……◇……

とにかく、砂糖が害があるといつて、子供を糖分から遠ざけることは困難でありますから、その害を防いでゆくやうにすればよいわけです。

……◇……

といつてゐますが、乳製品によつて育兒される方々には大いに參考となることと思ひます。

す。又蔬菜は果物等のヴィタミンCを攝るものに少いといはれてゐますので、これを防ぐためにはヴィタミンCを攝るとよいといはれてゐます。

……◇……

ですから、砂糖を含む乳製品をもつて育つた子供が、ブクブク肥つてはゐるが、何となく虚弱であるといふのは間違つた考へ方でこれについては、鈴木梅太郎博士も乳製品は比較的完全な榮養食料であるが、絶對の榮養食料ではない。この世の中に絶對の榮養食料などといふものはないのである。いかによい食料でもそれだけで育てて居れば必ず榮養障害を起す理理の當然である。だからといつてその食品が悪いといふ譯にはいかない。如何なる榮養上の均衡を施せば、より完全な食料になるかを考へるべきである。今日榮養學の研究によると、砂糖の害もヴィタミンBを補給すれば、その害は甚しく中和されると云ふ學術的根據があるのである。乳製品だけ與へヴィタミンを補給せぬやうな育兒方法では育ちが悪いと乳製品を非難するのは當らぬ云々

身の上相談

相談相手もなく困窮に陥る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛御申込下さい。電話や面會は御斷りします

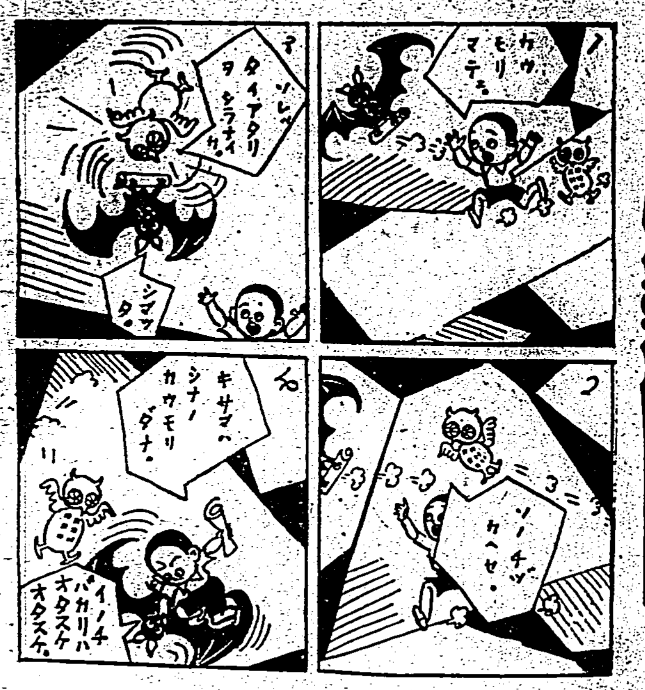
處女を×される

問 私は此の春東北の高等女學校を出たばかりの女でございます。昨年の秋度々訪れてゐたお友達の家で其の兄のBといふ人から暴力を以て處女を×されてしまひました。Bとは相當親しくお話を交す位の近づきではありましたがその日の態度は思ひもよらぬことでした。私には幼時より許婚の間柄の男性がありますのでこんな事になつたに就ては殊の外悩まなければならぬのです。私も止むを得ない事だと觀念してBに結婚して下さいと頼みましたがそれは不可能だといふのです。それはかりか結婚は出來ないが分れることもいやだ、若しお前が他の男と結婚するやうな事があれば一生つきまとふと恐ろしい事を申すのです。何といふ呪はしいことでせうか。聞けばBはかつて或女性に私と同じやうな事をし今以て關係があるのださうです。私は一年間此の問題で胸を痛め悩んでをります。父はとても嚴格な人ですからこんな事を耳にでも入れれば必ず勘當されてしまひます。私は許婚者の顔を見る度に苦しくてたまりません。私は許婚者に一切を告白して許しを請ふべきでせうか、それとも何も言はずに婚約を解消し一生獨身の決心をすべきでせうか(貞子)

母に打明けて熟慮せよ

答 何とも申上げやうのない御災難でした。かういふ事の為に女性の長い將來に小說的悲劇を起し硬ける場合があるのですが、どうして女性が守るべきものを守るについてもつと積極的に力を盡さないかといふ問題がそこに殘るのです。男性がみだらな態度に出るすきを與へないといふ事が女性の第一のたしなみでなければならぬ。その點について近來の若い女には非難に價するものが多いやうに思へる。貞操の價値を自覺してゐる女性にとつてはたとへ如何なる暴力に見舞はれたとしても、それは死を以てさへ抗拒せねばならぬものである。×されるといふ事は大きな災厄であつたには違ひないが女性がその罪から全然解放されるべきではなからうと思ふ。特に許婚の立場にある處女は不要領を責められねばなりません。其のBに對して結婚を求める如きは心性を疑はれないわけにいかない行動ではなかつたでせうか。現にも角にもBは不都合極まる男であるから斷じて交りを續くべきではありませんが、このまま默つて許婚者に嫁ぐべきではないにしても少くとも之を母親に打明けて善處方を御相談すべきだらうと存じます。許婚の相手に告白すべきか婚約を解消すべきかといふ點については抽象的に軽々しいおさしづは致しかねますが先づお母さんに打明けて相談相手になつていただき與盤の事まるを待つて熟慮されることを希望致します(係)

漫畫 アッパレ娘チャン(46)



廿代にも卅代にも 女性にはそれぐの惱はある

見逃してはならぬ 原因はこれです 朗かになれる一番よい方法

廻りくどい手當はよして深く屆く治療

東京木村病院長 醫學博士 木村仁

脇臭は大變人に嫌はれるがそれ以上に嫌がられるのは婦人特有の臭氣で、强い弱いの別はあつてもそれが原因で夫婦が不和になつたり、初婚早々紛糾が起るのが非常に多い。これは内部の故障が原因で分泌物が多く出て局部につき腐敗爛れから起る悪臭だから、内部の病因を治さぬ事には悪臭はとれぬ上に、身も心も參つて何程手段を盡しても女性の美しさは發揮らなくなつて終ふ。私の病院で使つてゐるワセトン球は大變苦心の末出來たもので、感情の細かい婦人の氣持に何から何迄ぴつたり合つてゐると見えて誰でも喜んで使ふ上に、効力が大變よい。もとは坐藥はいやですと苦情を云つたものであるが今では斯樣なよい藥があるので婦人病治療も樂になつたものだ。

一心から淋毒の帶下が治る 晉日 延子

……何事も運命と諦め樣と心に鞭をあてあてしましたが、夫の淋毒を受けての子宮内膜炎が腹膜炎になる心配があると醫者から申し渡された時には、なんとしても口惜しくてとめどなく涙があふれ、石に嚙りついても治したいと日夜それのみが願ひでした。醫師にも通ひましたものの費用が續かぬので止めましたがその為一生不具になるのかと重ねぐの不運に涙さへも出ず……あの藥この藥と使つた一心も屆かず……婦人會の會長樣からワセトン球を教へて頂き到々救はれる日が參りました。あれ程の下腹痛みのとれ工合や下り物の減つて行く喜ばしさは筆にも盡せません。自分乍ら信じられぬ程で、日增しに苦しみが減つて到々喜こびの日が參りました。藥價のお安いのがどれ程有難かつたでせう。

日毎衰へる容色をとりとめる 川村智惠子

……目尻に皺が殖える、肌が目立つて顔は日增しにドス黒くなるのが氣が氣でなく一番悲しかつたのは目の周りの黒い氣味悪い輪でした。あゝかうして夫に見捨てられるのかと涙ぶきぐ白粉を分厚にぬつて、何も知らぬ夫から叱られる始末でした。女ですもの夫の心が他所へ移るのを何うして安かんとしてゐられませう不圖雜誌で婦人病になると容色が削られるといふ記事を見てハッと心を打たれ、今更自身のお馬鹿が判り……早速ワセトン球を送つて頂き……今では以前よりも奇麗になつたと皆から云はれ、苦しかつた腰の痛みもすつかりなく、下り物もありません。

悪臭とれて天下晴れた氣持 柴田 政代

……冷たさがめつきり加はりました。いつも乍ら早速ワセトン球お送り下さいまして有難う御座います。近頃では下り物も氣がつかぬ程で、あれ程身に浸みついて居た悪臭もいつの間にかすつかりとれ、頭痛もたまには有ますがほんの僅かで、氣分は大變よろしく、食も進みこの寒さに負ずやつれも目立たず、追々血色がよく肉付きもよく身體もシャンとして夫は大變喜んでゐます。好い加減な藥を使つてゐたのではこんなに效きはしなかつたに違ひないと長い夢がさめた樣ホッとした氣持です。この一瓶で充分です厚く御禮申し上ます。

寸暇もない身で立派に治る 森山 昭子

……何分いつもちつとしてゐられぬ職業なので、醫者に通ふ暇も藥を煎じる暇もなく、手取早く使へる婦人藥を使ひましたがいろいろ氣持の悪い事があり穢れ臭く、悪臭は一層酷くなつてお客樣の前にも出られず……ふと親切な方から教へて頂いたワセトン球を藥店で求め、使ふ內に良くなりましてから何となく體がシャンとして、下り物もグッとへつて氣分が軽く、下腹も張らず夜の眠のだるさもすつかりなくなりまして丈夫に働いてゐます。厚く御禮申上ます御禮奉祈ります。

家の中はいつも暗く、笑ひ声もせず口論手荒な物音が絶えない家庭夫は酒に憂さを忘れ夫婦仲は不和で燃える愛がない。楔となる子供がなく貯金は出來ず借金の殖える家庭、斯んな家庭が大變大いのはお氣の毒でゐます。帶下の出るのは婦人病ですから、明るい家庭幸福な家庭作りのよい夫婦生活を營むには、上記皆様が生きた證據のワセトン球を直ぐ使つて御治しになるのが一番近道です。

さすがに 帝大病院婦人科使用 素人にも使へる新發明藥

是迄内服藥をお飲みになろうとべト附いて氣持わるく爛れる坐藥や固い帶下吸取玉をお使ひになつたにせよ、芯から治らねば、下り物は止まらず下腹の痛みや頭痛肩こりはとれませんからさう云ふ藥には早く見切りをつけるのが利益でございます。研究に研究を重ねて出來たワセトン球は、帝大病院初め全國有名病院で御使用になる程ですから、中で八分で溶け殘さずすつかり溶け失せ内部に浸み込み、病源病菌を取つて爛れ痛みを根本から完全に治療を手早くする。

年齢の差別なく若がへる

然も最新學説を練りに練り、ADヴイタミン療法を應用した結果、爛れた粘膜を生れ変らせ、殺菌力を强め肉を盛り上らせ、分泌物を止める事に成功し、重症でも一日一回、輕症なら二日に一回の治療でよい破天荒の効果に到達しました。人に知られず、処女にも安全、神經婦人も安々と進歩した治療が出來るワセトン球は、今夜からぐつすり安眠の国に誘ひます。

こんなに安く出來る

他藥と比べるとよく判ります。六日分七十錢十二日分一円廿錢廿四日分二円卅錢卅六日分三円四十錢送料各十五錢。病院用百四十四日分十三円も素人におわけして便利を計ります。

御注文には 有名藥店で帝大病院使用の「ワセトン球」と特に云つてお求めになり決して代用藥に迷はぬ樣御注意。品切の時はハガキに「何日分送レ」と書いて左記へお出しになれば代金引換で急送しますから御便利です。

無代 婦人病の大家醫學博士木村仁先生の名著「女性の新生理學」をよめば治し方がよく判ります。美しい女性になり度い方は左記へ至急御申込の事

東京市芝區通新町十二番地 發賣元 河原商店 振替東京三五〇一九 電話三田(二)六六八五

健康ありて勝利あり!

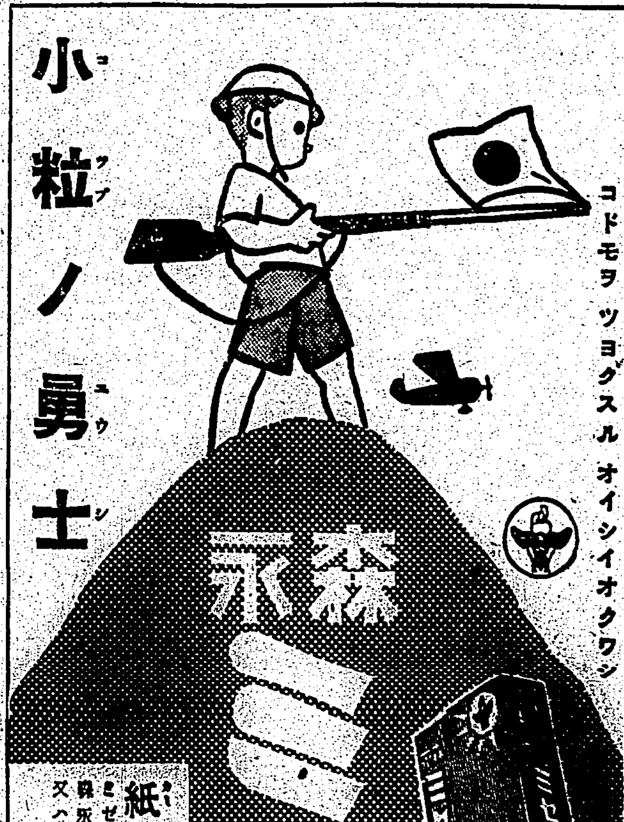
國民强ければ國家强し! 超非常時の秋溢れる元氣で銃後をまもり健康報國致しませう! 蜂ブドー酒はその健康によい滋强飲料! 朝夕の一杯が素晴しい力を生み强い身體をつくるのです また輝く首途に當つて一層の健康と武運の長久を祈る意味からも 蜂ブドー酒の乾杯こそ最も有意義です!

ずっと外國品ばかりお使ひの方 比べて下さい。

これ迄のバニシングの半分量で使って下さい。のびるから。

パピリオクレーム

A一般用(男・小供も) B荒れ性用 各60錢 Cファンデーション化粧下80錢・伊東化學研究所 有名店ニ有 東京麻布本村町 見本四錢切手・デパート



●ラヂオ体操、そしてノーシン それで一日爽快●

紙芝居(オモシロイ ウゴクヱホン) アゲマス 東京市芝區田町 森永製菓ミゼット係ヘ オ送リニナルカ 又ハ ポスターノ出テヰル菓子店ヘ オモチ下サイ(開封三錢)

森永製菓株式會社

國定忠次（113）

長谷川伸作　岩田専太郎畫

化けの皮（五）

鬱明りで見た今市の顔は、今まで見たこともない形相である。眼の毛がほつれて鬢にかかつてゐるだけの爲ではない、瘦顔が出てゐるのか、苦痛があるのか、眼のふちが隈を取つたやうに黒ずんでゐる。尋常でないのが一目で知れた。

「今市さん、ど、どうしただ？」

「うむ」

にツこと笑ふらしかつたが今市の顔は笑ではない、歯が白くみえただけである。

「今市さん、どうしただ？」

「鉄。お前どうしたのだ、頑鉄ではないか」

「利根川へ落ちて裸になつただ」

「そこへ行くのだ今頃？」

「今市さん、おら申訳がねえ。お前の御贈を」

「どうかしたのか」

今市は意外なほど平静に訊いた。

「通り損くなつただ」

「そりや良かつた。よく通り損くなつた」

「へえ」

「国定へは方角違ひだが、何処へ行くんだ」

「仕様がねえから旅でも歩く気だ」

「お前やり損くないで高飛ひか、それとも他に何かあるのか」

「他にねえ」

「へえ」

「国定へ帰れ。いやさ、俺の遺言を以つて国定へ帰り、出来ら親分にかはつてくれ」

「ヘツ。本当だか。親分が国定へ帰つたの本当だか」

泣きさうな顔である。

「ヘツ」

「死ぬ、故郷にそんな望を出す奴もあるか、鉄、これからもある遺言は泣かれたい奴で死せ」

「ヘツ」

「本当に出来ねえかも知れないが、だれに出来て、だれに出来ねえといふのではない。俺た時に親分に渡せ」

「へエ、だけど今市さん」

「大きい声だ」

「親分、帰つたつて何日だ？」

「今夜だ」

「今夜のいつ頃だ？」

「もう半刻も前だ。鉄、途中で眼目にかかつたのか」

「……」

「旅支度で菅の笠をいただき、提燈をさげて、ちよいと見ると堅気の旦那といふ扮装だつた」

「そんなら會つた。あ、あれが親分だつた」

じろりと頑鉄を見て今市が、

「會つて、挨拶もしなかつたのか」

「へえ」

「何故？」

「困つた。今市さん、おら親分に利根川へ断落とされただ」

「ふうン――知らずにだらう」

「何いふだ。親分と知つておらが抵抗するものか」

「それなら、良い。恐られる訳はねえ。それよりは鉄。俺は親分に国定へ一足先へ帰つて貰つた――悪い野郎でな、親分と一緒に歩くのは今から、して、お前と歩くやうに骨が折れる」

「済まねえだつたねえ、おら、もツと悠々歩かう」

「御免のちやねえ。遅いので骨が折れるんだ。これより悠々だつたら俺は立停まつてゐなけりやならねえ。俺ほな、親分に先へ廻つて戴かひ、後から行つて丁度いいと思つた――そいつが、今となると仕合せだつた」

「へツ」

「お前、あつちの方で騒がつてゐる人を見掛けただらう」

「見たぞ。そこの処で落ちてゐる刀の鞘を蹴ッ飛ばしたら」

「俺の面も日頃とはひどい違ひだと気がついてゐるか」

「うむ、気がついてゐる」

「俺はない。いや、俺の臨終のつきる時がきた」

「臨終、つてゐるのか」

と気の好い頑鉄が心配顔になるのを眺めて、今市が、

「うン永らくの病ひで、たうとう息を引取る時がやつてきたんだ」

「そんなに悪いのなら歩いては毒だ」

「嘘ではねえ、ここだ」

と、胸を指した今市の顔をみて頑鉄が、

「胸に病ひがあつたのか、では、肺結核だ、大事にしねえといかねえなあ」

「ふふふ。鉄。陽気でお前はいいなあ」

「何か悟つたものか、ぶるツ、寒くて寒い。ああさうだ。親分に伺ひふだ？」

と、訊く頑鉄から眼を逸らして今市、苦さうな口をした。

時局の人形

山田德兵衛、西澤笛畝氏等を顧問とする女性ばかりの人形すがた會第二回展覧會が日本橋三越で開かれたが、前回より以上の力作が多く驚く程の真剣さで作製されてゐます、殊に時局柄一段の人形は銃後の種々相をそれぞれ作者の主観によつてスナップしたもので特に目を惹いてゐる【寫眞は「女子グライダー部員」安井はま氏作】

文化史的に見た履物（中）

南部表は江戸末期　下侍の自慢の創作

俠客愛用の雪駄緒

奈良朝時代に藁で作つた雪踏といふのを雪深い国の者が思ひつき保温上、大変喜ばれたものであるが、併しことには寒国が主であつたため非常に脆いので、その後、牛の皮を水に入れて、ぐしやぐしやに柔らかくして沓の型にし、足首の周りを紐で結び、これも雪踏といはれて民間にあつても大いに歓迎されたものであつた。大根も古くはおほねと云はれ、その後だいこんと讀んだやうに、雪踏もその音を訛してせつたといふやうになつた。これは西国地帯諸島で、今も履いてゐるさうである。

◇　◇

東山天皇の御代、寛永の頃より草履下駄といふものがあつて、下駄に草履表を張つたもので、之が雪駄の始めとなつた。徳川の末期には、南部から出て東京にゐる下級士分の者の内職として、お国自慢の南部表が編み出され始めたものであるが、大量生産でないだけ丁寧な、いい仕事のものが出てゐたわけで明治年間を経て今に至るまで南部表は上物として扱はれてゐる。

郷下駄糸にぶれたはなをかな　　口起

雅風に鼻緒も捻るや桐下駄　　常風

また享保の頃の句で

雪雨や二世の思出る郷下駄

郷下駄とは吉原下駄のことで、杉で出来た二三度はけばこと足りるやうな安下駄で、吉原へ行つた帰り雨に降られてその安下駄をつつかけて帰るときの句であらう。

◇　◇

鼻緒はもと前緒の称であつたが後に轉じて全部の総名となつた。鼻緒は古くは自分で作つて用ひたものである。男子は緒を綯つてすげ、女子は木綿で括つて用いたものであつたが、後には在町でつくるやうになつた。

元禄に入つて東京の八つ打が大いに行はれ、寛政に至ると、玉子よりの雪駄緒が流行し江戸の俠客は大抵朱系、黒系又は白革緒を用ひてすげた。

明治の初期に入つてから江済島といふ下駄（大阪では米屋り者が履き始めたので米やともいふ）が一般に愛用され、この時代が相當永く、明治二十七年頃迄續いた。その頃の鼻緒の色としては中年以上の婦人は黒、若向はお納戸と決つたもので、臙脂や其の他の色は見あたらなかつたやうである。この頃は日下駄の柄も鼻緒も加速的に変化して居る。

◇　◇

明治二十三年、庶民議会の初めての召集のとき、地方から集つた議員さんは、大抵新橋辺に宿を取つて、議会に通つたものであつたが、いざお国へ帰るころとなると、新橋辺の商家から土産物を取り寄せて、家族とした。なかでも履物などはいい仕事のものが出たので、江戸つ子と下駄といふことが、このころにいはれ始めたのである。

カナ文字ニュース

△ワガ陸海軍飛行隊ハ　二十三日朝　常州　江陰ハウメン　ニ　トビ　敵ノ　チユウエウ　ヂンチヲ　バクゲキ　シマシタ

△ワガ海軍航空隊ガ　二十二日　南京ヲ　クウシフ　シマシタトキ　敵ノ　セントウキガ　應戦シテキマシタガ　コレハ　外人側ノ　テウサニ　ヨツテ　ソヴイエツト製ノ　飛行機デアルコトガ判明シマシタ

映畫ニュース

★大洋商會が事變特報配給

大洋商會では満洲ニュースの配給を開始した、これは事變勃發以来の満洲国軍の活躍状況を詳細にクランクするもので順次新ニュースを提供する

★異色短篇十一本フオックスへ新着

短篇映畫界の折紙付世紀フオツクス社へ左の如く異色篇十一本が入荷した

△キートン主演「キートンの脱獄術師」二卷△ウエスト・トリコラ主演喜劇「踊る水兵」二卷△同「浮かれ水兵」二卷△カメラマンの冒險」一卷△漫畫「動物六舞踏會」一卷他一本△天然色音樂映畫「未完成交響樂」「バルカロール」各一卷

★凄惨なスパイ映畫「間諜」

ユナイト提供ヴイクター・サヴイル作品コンラツド・フアイト主演の「間諜」は二十三日から帝劇大勝館、武藏野館に封切られるが、これは世界大戦當時中立國瑞西を舞台に暗躍する各國のスパイ戦を扱つたもので當時之等のスパイ戦に當つた瑞典將軍大將K・ロツケ氏を煩はしてスパイの活躍振りを彷彿せしめてゐると

★一本立を目標に映畫興行時間制限

内務省に於て目下研究中であつた映畫興行時間統一制限問題は既に主要府縣の保安課長會議の際にかけて愈々正式決定を見るに至つたので多分來週中に内務省令として公布、全國一齊に三時間以内に制限され來年一月一日からこれを實施する事になる筈である。内務省としては東京、大阪、京都、神戸、名古屋、横濱等の大都市映畫館に對しては一本立二時間半となすことを希望して居り制限實施と同時にこれを實行せしむる事は從來の慣習上困難ありとすれば三ヶ月乃至六ヶ月間の猶豫期間を定めた上これを實行させる意圖の下に省令公布と同時に附帯聲明を發表してこれを勧誘する事になる模様である

★満洲映協會がシナリオ募集

満洲映畫協會では同國映畫法に基き十一月一日より映畫統制を全満に亘り一齊に實施してゐるが、愈々国策映畫の製作を開始することとなりその映畫シナリオを一般から募集することになつた、同シナリオは満洲国策の線に沿つた優秀なる娯樂映畫たる事が第一條件でこれが決定次第、さきに募集した満人男女優各々十五名を使用、近衛何某吉氏の監督で明春早々製作に着手する、尚シナリオの募集規定は近く同協會から詳細が發表されるが大要左の如し

△應募規定　トーキー・シナリオ形式又はストーリー型四百字詰原稿用紙五十枚以内で他に簡單な梗概を附す事、原作は必ず作者の創作たる事

△主題　純然たる娯樂を主眼とし満人向の劇映畫脚本たること

△締切　昭和十二年十二月三十一日

△宛名　新京大同大街、満洲映畫協會企劃部内、脚本懸賞募集係

△賞金　一等五百圓（一名）二等二百圓（一名）等外五十圓（五名）應募原稿は返却せず、當選作品に關する一切の著作權は満映の所有に歸す

△當選作品の映畫化に際し一部訂正あるべし

△發表後と雖も盗作、剽竊の事實判明の場合は當選を取消す

△匿名又へなきも原稿には作者の現住所、姓名を明記する事

北支戰線を描く

……萬里の長城（二）……

繪及び文　日本美術院同人　眞道黎明

其部には石を用ひてあるが他は全部黄色の煉瓦で自然に破損した部分もあるが處々には新しく修理した個所も見える。兵器の發達しなかつた往時に於ては實に堅固な防備の役目を果したであらうが近代兵器を以てしては一たまりもあるまいと誰しも想像するさうであるが來て見ればなかなか堅固なもので思つた程破壊されてもゐない。しかし我砲兵の月後になつた豊砲や飛行機が石壁に迫近した最后等は我砲兵の威力を十分に見せてゐる。

今日の詩

[illegible]　魏清徳

[illegible]　本宮三香

北支事變感懷　[illegible]　森山樂翁

[illegible]

メガホン塔

▲南京の中立地帯は断じて承認すべからず寧ろ寄宿を中立地帯たらしむるを以て先決とすべし（大衆生）▲万事此の際[illegible]を使はないやうにしたらどうです（通行人）▲前口町二丁目の〇島さん生石灰を使用しないで下さい（近所迷惑）▲[illegible]

商況（廿四日）

臺灣正米市場前場　[illegible]

東京期米前場　[illegible]

神戸期米前場　[illegible]

大阪期米前場　[illegible]

東京短期前場　[illegible]

東京長期前場　[illegible]

大阪短期前場　[illegible]

大阪長期前場　[illegible]

東京銀行實株　[illegible]

東京國債前場　[illegible]

大阪砂糖清算前場　[illegible]

大阪砂糖現物　[illegible]

大阪棉花前場　[illegible]

大阪人絹前場　[illegible]

横濱生絲前場　[illegible]

神戸豆粕前場　[illegible]

神戸對外爲替前場　[illegible]

外國金塊相場　[illegible]

外國銀塊相場　[illegible]

外國爲替相場　[illegible]

紐育株式　[illegible]

外國棉花相場　[illegible]

ナショナル生絲　[illegible]

潮汐（廿五日）　[illegible]

洗髪の要領

……よく心得て置きたい……

——秋は頭毛が氣にかゝる——

美髪

は昔から婦人の生命といはれて居ります。世界各國、何處の婦人でも美髪を尊重することは同様で、容貌上の最も大切な要素になつてゐますが、殊に我國の婦人は「髪」といふものに一種の神秘的な關心をもつて來ました。一筋の毛髪でもこれを粗末にしたいといふ氣持……日本婦人が世界に誇る立派な毛髪美の所有者であるのも尤もな事といへませう。

……するのです。ところが、ここに困るのは、髪を綺麗にする爲に髪を傷めてはならないといふ事です。普通の洗髪でもさうでせう。汚垢を去るのは必要だが其爲に布地をいためては何にもなりません。毛髪の様なデリケイトなものは一層心配な譯です。

最近

宣傳されたミツワ・ブレーク・シヤンプーはそんな洗髪ソーダの弊害を除き、ふくませ、洗つた後がシツトリと柔軟になる點で、しかも洗髪の目的を完全に達し……まで氣持よく洗へる高級品ですが、これは多年の研究に依る洗髪料と、ブレーク（[illegible]）といふ……

勿論

現代の女性もこの氣持は決して失つて居りません。しかし、現代の様な複雑な時代にあつては趣味の上からも實生活の必要の上からも時間や手間をかけて髪をいたわる事は許されません。例へば、髪のお手入として一番大切な洗髪がさうでありませう。昔の婦人のやうに必要以上になり小半日もかかつて髪を洗ふといふ様な風習は實世相情勢として……は実しいものです……と嘆ずるのも無理からぬことでせう。

成可く短時間に成可く手軽に、しかも完全に洗髪したい、といふ事は近代人として當然の願ひであります。この要望に應じて各種の洗髪料が続々市場へ現れて居ります。シヤンプーと一口にいふと、其度は小さい髪の洗髪を目標に……ます。あれは大變便利です。ふりかけてとかせば髪が綺麗になるのですが、使用にも便利ですが、品質の點は果して十分……といふよりもシヤンプーの品質として何ないものばかりでせうか。といふ……んな點を吟味すべきでありませう。

殊に

秋から冬へかけては髪にとつては心配な季節です。……

洗髪

の第一の目的は、汚垢や頭の脂によるふけを除くにあるのですから、よく〱髪を……

A、ブレークといふ名は……

B、ふけがよく落ちる……

C、頭髪にアルカリ分を含ませないので、髪がカサ〱になつたり、……になる様な心配がありません。

D、經濟的であります。一回の使用量は……一箱で……洗髪につかへます。

ミツワ・ブレーク・シヤンプーで洗髪なさるには、初め毛髪を……

こんな……シヤンプーなら申分なし

すべて、髪の洗ひは……

[illegible]

今昔は[illegible]

昔の日本婦人には、……

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人 佐々木實
發行所 臺北市榮町四丁目貳番地 臺灣日日新報社

社説

中北支に對する經綸如何
綏撫の必要さは日に加はる

一

見事なる戰果は、日に日に擴大されてゐるが、さて大なる犧牲を拂つて收めた我方の此の戰果を、將來いかに處理し、如何なる結果に導くべきか、言ひ換へると、支那大陸に於ける戰後の經營をドウ云ふ風に爲すべきかが、今や我が國民に課せられた大なる當面の問題となつて來た。黃河以北の北支一帶の地方は、すでに〝新しき經綸〟を需め目覺めしてゐるではないか。完全に吾が方の手中に收められた大上海は、帝國の方針通り如何にでも處置さるべく待構へてゐる。事實また、排日抗日の策源地であつた上海を、此の際徹底的に粛直して、東洋平和の障碍になる樣な禍根を絶滅することは、今次聖戰の大眼目でもあり、上海市の將來に於ける調整處分の如きは、吾が國民として最も多く關心を寄せてゐる所である。

二

支那の所謂〝長期抗日〟が何時まで續くかは全然未知の問題であり、又いま左樣な事を茲に推測したり豫想したりする事は厳に避けねばならぬ。この度の支那事變は要するに先方次第であり、膺懲の實が徹底するまでは飽くまで此の儘で進む外ない。事實に於て他に手は無いのだ。從て事變に就ての今後の見透しは全然不明であるが、しかし北支や中支等で既に皇軍に依て占據されてゐる地方の地方的治安並に行政上の指導等は、勢ひ必要となつて來るので、戰後に於ける根本的な決定を待つては居られない。即ち占據地方に於ける治安、防止（抗排日分子の一掃、並に此種機關の解消）住民の生活保障、その他經濟、財政、交通等の諸問題、並に住民の指導精神や思想對策等の綏撫事項が、戰後を待たずして今日直に方針の決定を必要としてゐるのである。

三

吾が國に〝領土的野心なし〟とは、外務省側が毎々繰り返し聲明してゐる通りだが、しかし極東の平和を永遠に確保するため絶對に必要なる事情が發生するならば此の最終にして最大なる目的のためには、時に決然たる態度に出なければならぬかも知れない。支那さへ確かりしてみれば問題は無いのであるが、現在までの樣にソ聯と結んで赤化宣傳や容共政策などにまで進んで來たり、或は某々強大國などの勝ふ國に以夷制夷の外交政策を弄し、飽くまで極東に於ける帝國の立場を侵し東洋平和を危殆に陷らしめる樣な不逞の擧に出るならば、更に今日以上、斷乎たる態度に出なければならぬかも知れない。要は支那今後の出方によるが、何れにしても吾が對支根本政策は今日現在に於ては一本であり變りはない。即ち支那の對日認識を改めさせ、過つたる聯ソ容共や、他の強國の勢力を利用して日本を抑へんとする樣な卑屈な政策を放棄する迄は膺懲の鞭は緩められないのである。此の目的のためには、相當長期間を要するであらうが故に、吾等は、占據地に處する方針及び對策を速かに確立し、之を作戰上よりも最も合理的に指導しつつ、支那側の〝長期抗日〟に對抗する必要ありと信ずるものである。

金蓋山を攻略
山頂高く日章旗
上海戰最初の山岳戰

【嘉興二十四日發同盟】長野、山田兩部隊は湖州南方の金蓋山より山砲及び重機關銃を以て南京杭州街道を死守せんとする敵に對し上海戰最初の山岳戰を演じつつこれを攻略、二十四日早朝山頂高く日章旗を翻へした

吳興城內で激戰

【嘉興にて二十四日發同盟特派員】長野、山田兩部隊の一行は二十四日午前十一時吳興城內に殺到したが約三千の敵大部隊は城內家屋に踏留まり頑強な抵抗を續け激烈な市街戰が展開されてゐる

完全に湖州を占領

【嘉興二十四日發同盟】湖州(吳興)城內に突入した岡本、長野、山田の諸部隊は壯烈な市街戰を行ひ殘敵を掃蕩の後二十四日午後一時完全に湖州を占領した城壁には日章旗が燦として翻へつてゐる

敗退する敵を痛擊

【嘉興二十四日發同盟】金蓋山の山岳戰に凱歌を揚げた〇〇部隊は我が山田部隊の湖州(吳興)占領と呼應して一舉に山を降り湖州西方に向け敗退する敵に對し痛烈的打擊を與へた

租界の稅關、郵政權 接收要求は當然
一般英國人の意向

【ロンドン二十二日發同盟】イギリス政府は日本が上海共同、フランス兩租界の稅關、郵政權の接收を要求してゐるとの報道を重視してゐるがロイテル通信社は一般英國人は日本の要求を別段意外的なものとは見て居らず大體左の如き見解を抱いてゐると傳へてゐる、日本軍は今や全上海をその手中に收めたのだから租界が抗日運動の中心となることを好まぬのは當然である、從つて日本の要求は別段高壓的なものとは思はれぬ、租界には現在約百萬の支那人がゐるから租界市當局が日本の要求の合理的部分に應ずるのはその義務である

米政府逆宣傳を是正

【ワシントン二十三日發同盟】一兩日來米國諸新聞は上海の日本當局が上海全市の支配を要求した等とセンセーショナルな報道を掲げて一般の注意を惹いたが國務省は二十二日在上海米國總領事より工部局に提出した要求及び之に對する工部局回答の內容を[illegible]するとともにハル國務長官は特にこれ等の問題は上海において地方的に解決さるべきものなる旨を言明した

上海南京間連絡は杜絕

【上海二十四日發同盟】南京、上海の交通路は皇軍の南京追擊に伴つて日毎にその數を減じ現在では南通を經由する唯一の道が殘されるのみである、即ち外國船に依り上海より揚子江對岸南通を經由し東台自動車道に依り南京に通ずるルートであるが江陰陷落も目睫に迫り南通一帶が既に帝國海軍の制壓內に這入つたのでこの際この一線も兩三日中に斷絕するものと見られる

南京を空襲
敵三機を擊墜

【上海二十四日發同盟】航空部二十四日午後六時發表 中野少佐の指揮する海軍航空部隊は二十四日午後三時南京を空襲し飛行場その他軍事上重要地點を爆擊し飛行場にありし敵機多數を破壞せる外空中戰闘において敵機三機を擊墜せり

敵機はソ聯製

【上海二十四日發同盟】二十四日海軍航空隊の南京空襲に依り南京大校場飛行場にあつた敵機は總てソヴエツト聯邦製飛行機なることが認められた

南京防備に狂奔
市街戰はも早や不可避

【上海二十四日發同盟】南京の攻防戰は皇軍の猛進に依り今や目睫に迫つたので南京市內外の防備陣の強化工作は愈々猛烈となつてゐる、特に城壁外東南方には堅固なトーチカ塹壕等を無數に構築し市內には到る處土嚢、塹壕陣地が急設され武器、彈藥、兵士の移動が極めて頻繁に行はれてゐる、從つて軍事最高幹部が南京市街戰を無益なりと主張するに拘らず最早相當激烈な市街戰は不可避と見られるに至つた

敗走兵を空襲

【上海二十四日發同盟】陸の隼河村、神崎、野中各部隊は二十四日早朝より地上部隊の追擊戰に相呼應して常州、江陰附近より敗走の敵に重爆擊を加へまた大沼、西岡、錦織各部隊長指揮の〇〇機は午前十時頃湖州(吳興)西方に現はれ敗走の敵を襲ひこれに多大の損害を與へた

上海の言論界に大變革の時來る
工部局が五紙に停刊勸告

【上海二十四日發同盟】我が上海包圍形勢の完成に依り上海言論界に大變革の時が來た、即ち工部局當局は二十三日我が抗日紙取締要求の申出でに基いて非公式に中央通信社上海支社及び立報、時事新報、民報、中華日報、神州日報の五有力紙當局者に對し即時停刊する樣勸告せる爲め中央通信社は二十四日以後上海に於ける通信發行を止め更に前記五紙も夫々一兩日中に發行を停止する事になつた、これで殘る主要紙は大公報、申報、新聞報、及び時報の四紙のみとなつた

楓涇鎮一番乘り
日の丸部隊の殊勳

【嘉善にて二十四日發本社特電】上陸以來快速の進擊を續け九日早曉楓涇鎮を急襲、我に敗退する敵を一蹴し去つた小坂、川崎兩部隊は隊長川崎少佐の背に負ふ千人針の大日章旗をマスコットとして敵陣に、この日の丸の行く所敵をして鬼神の如く恐れしめてゐるが、川崎部隊は自ら日の丸部隊と稱して杭州平野を南へ南へと進擊を續けてゐる、今この日の丸部隊川崎隊長以下金子、佐々木、石橋、石松各部隊長の上陸以來の血湧き肉躍る奮戰の數々を聞く

八日夕刻泥濘の道を行軍して亭林鎮附近の堅壘を拔き勢に乘じて黃浦江を渡り長驅して毛家橋を奪取し滬杭甬鐵路遮斷の一番乘りに成功した金子部隊は楓涇鎮に通ずる白牛浩大運河を抑へ敵の退路を完全に遮斷、我が〇〇名の同隊は敵陣の眞只中に頑張り續け楓涇鎮より退却の敵を待ち構へてゐたが果して敵の大部隊が九日夕刻數十隻の小舟に滿載して白牛浩を下つて來た、金子隊長は待つてましたとばかり火を吐く銃彈はまたたく間に小舟を蔽ひつくし四百の

敵を殲滅 白牛浩を紅に染め先遣金子〇隊の使命を完全に達成し大殊勳を立てた、一方佐々木、石橋、石松の各部隊は金子〇隊と松隱鎮にて分れを告げ西へ西へと敗走する敵を急追、八日午後二時には早くも楓涇鎮東方二粁の地點に到達、始めて楓涇鎮前衛陣地たるトーチカ線にぶつつかつたが川崎〇隊長は楓涇鎮の攻略は〇〇部隊の今後の行動を左右する重大地點であるだけに最少限度の時間を以て陷落せしめねばならぬと悲壯な決心をなし、佐々木、石橋、石松の三部隊長に「余の背に負ふ日の丸のある限り死を以て楓涇鎮を奪取すべし」と涙と共に下る悲壯な

決意を語り 部下を激勵する、渡るに唯一本の橋あるのみの黃浦江、其南岸には十重二十重の鐵條網を張りめぐらし、滬杭甬鐵道の線路は自然の防壁となる堅固な陣地、加ふるに我に數倍する大兵力、味方はと見れば僅か〇〇名のみ、死を決した角田隊長は折柄の煌々たる月光に照し出された楓涇橋を望み「部隊長の命を完全に果します」と叫び部下〇〇名を集結、千人針の日の丸に決別の捧げ銃を爲し感極まつて泣く川崎部隊長を後に颯々として楓涇橋目がけて進擊せば朝霧の港、楓涇橋は忽ち亂射亂擊の坩堝と化し、決死の勇士は敵の猛射をものともせず黃浦江を押進み、更に鐵路を越えて疾風の如く楓涇鎮の心臟部楓涇鎮線を蹂躙した、時に午前八時であつた、續いて午前十時には早くも殘敵を掃蕩、川崎部隊長は同地西端に進出したのであつた、楓涇鎮

一番乘り の大勝利に部隊長は部下の殊勳を讃へると共に日の丸の旗を押戴きゆるぎなき祖國のシンボルとして部下と共にこの成功を泣いて祝したのであつた 斯くてこの日章旗は川崎部隊長のマスコットとなり日の丸部隊の愛稱が生れたのである

ソ聯と英から飛行機供給
西安、香港に到着

【東京二十四日發同盟】二十四日信ずべき筋に達した情報に依ればソ聯より支那に供給された飛行機百六十台は最近西安に到着目下操縱士の訓練に忙殺されてゐるが、更にイギリスより供給された飛行機六十台も去る二十一日香港に到着直ちに北送の筈であると

廣東を空襲
沙面對岸を爆擊

【香港二十四日發同盟】我が海軍機は二十四日午前十時四十五分久し振りに廣東上空に姿を現はしたが沙面對岸上空において地上からの機關銃射擊を受けたのでこれに爆彈を投下して反擊を加へ引揚げた

各所を爆擊

【香港二十四日發同盟】二十四日の我が廣東空襲は先づ虎門砲台に爆擊を加へ白沙飛行場を襲ひ更に廣東郊外の石牌、山塘兩飛行場及び大沙頭に爆彈を投下して悠々編隊で粤漢線黃沙驛に爆彈を投下し更に機首を北に向け粤漢線上各所を掠めて[illegible]附近同線路を爆擊した

防共協定 功勞者
畏くも勳章御贈與

【東京二十四日發同盟】日獨防共協定一周年の二十五日を迎へて同協定成立功勞者たるドイツ外相ノイラート男外四十名に對し勳章御贈與の御沙汰があつた、勳一等旭日大綬章を賜はるものは左の通りである

外務大臣男爵 フォン・ノイラート
國防大臣元帥 フォン・ブロムベルグ
航空大臣航空大將 ゲーリング
陸軍最高指揮官上級大將男爵 フォン・フリッチュ
海軍最高指揮官海軍大將 レーダー
[illegible] ヒムラー
在本邦ドイツ國特命全權大使 フォン・ディルクセン
在英ドイツ國特命全權大使 フォン・リッベントロップ

勳一等旭日大綬章(各通)
航空次官航空大將 ミルヒ
國防省陸軍部參謀本部長砲兵大將 ベック
元外務次官現駐米國特命全權大使 ディークホフ
總統官房長 マイスナー
宰相官房長 ラムメルス
國防次官 カイテル
外務省儀典局長公使 フォン・ビューロー・シュワンテ

勳一等瑞寶章(各通)

鷲勳章
獨逸も行賞

【東京二十四日發同盟】日獨防共協定締結關係ドイツ側功勞者に對し前項の如く勳章のお沙汰があつたが同時に右協定締結に關しドイツ國政府から伏見軍令部總長宮殿下に夫々ドイツ鷲勳章一等の贈進があつた外日本側關係者四十九名に鷲勳章を贈進されたが一等の分は左の通りである

廣田外相、永野元海相、寺內元陸相、林元陸相、堀元陸相、有田元外相、武者小路大使、東郷元歐亞局長、堀內外務次官、梅津陸軍次官、西尾元參謀次長、長谷川元海軍次官、島田軍令部次長

伊大使に贈與

【東京二十四日發同盟】既報の如く日獨防共協定へのイタリーの參加に關し盡力した駐日イタリー大使アウリッチ氏に對し二十四日勳一等旭日大綬章を贈與あらせられた

堀田大使に贈與

【東京二十四日發同盟】駐伊帝國大使堀田正昭氏は日獨防共協定へのイタリーの參加に盡力したるを理由に今回同國サン・モーリス・エ・ラザル大綬章を贈與された旨二十四日發表された

大本營、內閣 初連絡會議

【東京二十四日發同盟】大本營と內閣の第一回連絡會議は二十四日午後三時十五分より首相官邸で開催し
內閣側 近衞首相
陸軍側 杉山陸相、多田參謀次長
海軍側 米內海相、島田軍令部次長
出席して隔意なき懇談を遂げ同四時すぎ散會

青島に戒嚴令
支那司令官布告

【上海二十四日發同盟】支那派遣軍第三艦隊司令官は二十四日青島を中心とする一帶に戒嚴令を施行する旨二十四日布告した

臺北市參事會

台北市參事會は二十四日午後一時より市役所に開會、五參事會員の外石井市尹、國澤、矢上兩助役其他參與等出席、青年總動員訓練に要する追加豫算五千五百円の審議を進めたが新要求の性質が適切且つ緊急のものとして異議なく原案可決、次いで台北市尹專決事項の提出あり、審議の結果左の事項は「市尹之を專決する事を得」る事を承認、午後二時散會した

臺北市尹專決事項
一、價格五千円以下の不動產賃下及見積價格二千円以下の不動產處分に關する事項
二、公用又は公共の爲不動產の無償貸下に關する事項
三、不動產の轉貸貸下に關する事項

赤星紙が遠吠

【モスクワ二十二日發本社特電】赤軍機關紙赤星紙は二十二日の紙上に日本軍が內蒙古に對蘇戰爭の足場を固めてゐると左の記事を掲げてゐる
日本軍は外蒙及び蘇聯に對する戰爭に備へて內蒙に着々足場を固めてゐる、日本軍の綏遠占領は外蒙國境に手を延さんとの意圖を示すものだ、外蒙と蘇聯とは友好條約により結合されてゐる、赤軍は恐らく外蒙を援助して日本軍に一擊を加へるべきである

國家總動員法案
來議會に提出
企畫廳で着々準備進む

【東京二十四日發同盟】政府は目下企畫院に命じて
一、國家總動員計畫
一、北支經濟開發計畫
一、戰後施設の擴充
一、國際收支均衡の爲め輸入制限
の諸點に關し研究を進めてゐるが右の項目の內國家總動員計畫の法律化として國家總動員法案を來るべき通常議會に提出する事となり企畫廳が主となつて着々具體化の歩を進めつつあり、十二月末までには成案を得る運びとなつてゐる、同法案は將來非常時及び戰時其他の超非常時に備へて國防目的を中心に全國力を人的物的に總動員しようとするもので、從來の時局關係法律たる臨時資金調整法、軍需工業動員法等を一括網羅して同一計畫下に收め、一旦緩急ある場合には施行令に依つてこの法律を活動せしめ得るやう不斷より準備して置くものである、尚ほ右の研究項目に關しては國民徵用法の改正、軍事救護の擴充及び輸出入制限計畫等が具體化するものと見られ議會の協贊を要するものは關係各省の手から提出する事になつてゐる

新竹臨時市會

【新竹電話】新竹市第九回臨時市會は二十四日午前十時より市會議室に於て開催、缺席議員二名、議事日程報告に引續き直ちに附議事項に入り
第一號議案 昭和十一年度歲入歲出決算報告の件
を上程一、二、三の質疑應答あつて十一時半休憩、一同揃つて新竹驛へ赴き十一時四十八分上り列車にて[illegible]の途に上つた[illegible]を見送り午後[illegible]時再開、議事に先立ち當野秀雄氏は
本市會に於て戰地にある皇軍將士への感謝電を發したい
と緊急動議を提出滿場拍手裡に之を議決直に打電の手續をとつた
第一號議案は異議なく可決續いて
第二號議案 新竹市手數料條例中改正の件
第三號議案 公會堂使用條例中改正の件
第四號議案 墓地使用條令中改正の件
第五號議案 公共住宅使用條例中改正の件
を一括上程直ちに原案通り可決し名譽職市參事會員の選擧を行つた結果村上正記、陳添登、當野秀雄、古賀玆、鄭大明、中田秋治の六氏當選午後二時散會した、尚ほ本市會は滿場一致の決議を以て皇軍の連戰連勝を祝し併せて閣下並に將兵各位の御勞苦に對し深甚の謝意を表す 新竹市會議長名
及打電先左の通り
寺內、松井兩最高指揮官
〇〇部隊長
臺灣軍司令官
馬公要港部司令官
〇〇飛行團長

赤堀知事視察
大湖、苗栗土木事業を

【新竹電話】赤堀知事は久布白土木課長を同伴し二十五、六の兩日に亘り土木事業復興狀況視察の爲め大湖、苗栗兩郡下に向ふ事となつた

人事

▲原知義氏(新竹州稅務課長) 二十四日午前十一時三十四分着列車にて家族同伴着任(新竹電話)
▲坂本素魯哉氏 二十四日來北(日之丸館)
▲吉本一学氏 二十四日來北(日之丸館)
▲藤本正一氏 二十四日來北(日之丸館)
▲島津秀太郎氏 二十四日來北(日之丸館)
▲河井浩氏 二十五日朝中南部へ

天無口

國民政府の內訌が傳へられる、その樣相を見ると、對日關係に於ては舉げて抗日一色に在る事は勿論で、ただその抗日の爲めには赤色ソ聯との融け合ひも辭せずとするものと如何に抗日の爲めとは言へ赤化は不可だとするものとの、立場と觀念との違ひから來てゐるものである▲その色分けは遷都の際に於ける南京脱出の後樣にも微妙に現れてゐるが、赤化をも辭せぬ一派は西へ西へと移つて途にはモスクワに入るも亦辭せずとの運命を辿るものであらう▲南京に踏み留つた連中は、多く從來から對日關係打開の用意と腕するのは[illegible]をもつて直ちに蔣介石の[illegible]と見られた[illegible]赤への意識の相違から割出された自然の結果と見るのが妥當であらうと思ふ▲先日傳へられた國府部內の人事異動にも此の邊の事が微妙に織込まれてゐるやうで「兩翼に[illegible]」と謂はれる、[illegible]何成濬、張治中の蔣直系を[illegible]、湖北、湖南に[illegible]には同じく赤化不可能派の[illegible]などの要路同行と考へ併せて興味の感ぜらるる動きである。

「大日本地名辭書」新修復興版出づ

建國三千年來の國寶的大著述!!

著者 吉田東伍博士

特價提供

新修復興版・全七卷
新に地方別現勢一覽を別輯
【總紙數約六千四百餘頁・國民百科判】

拮据十有三年、吉田東伍博士が、その無邊際の學殖と超人的の意力に併せて希有の天才的頭腦を此一著作に傾けて、古來一箇人の事業としては世界にも類例稀なる「大日本地名辭書」を完成せられて以來ここに三十年、量においても質においても、遂にいまだこの書に駕して上るものを見ず、その人を距ること遠くして、その書は年を追うて却つて聲價を昂めるのみである。

世に辭書と稱せらる、ものの多くは數十人乃至數百千人の力を綜合せる「編纂」なるを常とするが中に、ひとり本書が始終一人の著者が一脚の机・一管の筆を相手になされた實に渾身の「勞作」である點に最も不朽にして偉大なる特色を存し、その著者の等身を遙かに凌駕する厖大なる原稿をみるもの、ひそかにその人間業なるかを疑はないものはないであらう。

本書の內容の有つ學問的權威に就ては今更喋々を要せぬところ、「絕版」數年、昨今偶々古書肆の店頭に現るれば、忽ち數百金の高價を呼んで爭奪せられ、その時流を抽んでて常に群籍の上に超逸する事實が雄辯にこれを裏書してゐる。博士の犀利明徹なる史眼を通して、苟くも我國土の限り聚散の地に至るまで、數千年數百十年の古きに溯つて究め盡された精到の叙述は、はじめて我國に歷史地理學の基礎を定め、今日全國に亙りて勃興しつつある鄕土地誌學・鄕土史學の母胎となつたものである。而して、ここにこそ「大日本地名辭書」が當用の利便を主とした普通地名辭典に超越した不易性が嚴存するのである。

今や世上多年の翹望に應へて、ふたたびこの國寶的大著述を再刻して世に贈るに當り、各卷に亙り詳細檢討、現行行政上國郡市町村の區劃及び交通改變の狀を一目瞭然たらしめた「地方別現勢一覽」を新纂して、本書の利用價値を數倍に高からしめたることは、いささか讀書家諸賢の久しく篤き眷愛に酬いる所以に外ならない。一切に江湖の清鑒を俟つ。

第一回(東坂)十一月中刊行
以下三ヶ月毎に一冊宛刊行
奉仕特價全卷揃四十五円(定價六十五円)
別に分拂あり、內容見本進呈

東京神田 振替東京五〇一 電話神田三三一
冨山房

臺灣の總生產額（十一年中）七億五千餘萬圓

前年比較 六千五百萬圓增

總督府殖產局調査

殖產局調査によれば、昭和十一年中に於ける本島全產業の總生產價額概算は七億五千七十六萬六百九圓にして前年の六億八千五百五十二萬四千三百一圓に比し六千五百二十四萬三千三百八圓增に當る、之を產業別に見れば農業が例年の如く第一位で總額の五十一％七十一を占め工業は二億九千六百九十八萬四千三百九十六円にして總額の三十九％[illegible]で第二位、以下畜產水產林業之に次ぐ

▲本島產業別生產總價額（但し十一年の工業及び計は概算、其他は確定數）

	昭和十一年 千円	百分比例 %	昭和十年 千円	百分比例 %	比較增 千円
農產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
林產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
畜產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	100.0	[illegible]	100.0	[illegible]

農產物總額は 三億八千八百萬圓

前年比較 二千七百萬圓增

殖產局の調査によれば昭和十一年の本島農業生產總價額は三億八千八百[illegible]円にして總額の五十一％七十一を占め、之を前年に比すれば二千七百二十一万九千八百[illegible]円(七分五厘)を增加し、尙明治三十五年の五千六百二十万七千餘円に比すれば六倍(六・九一倍)となり、全產業總生產額の五十一％七十一を占める、之を州廳別に見れば左の如く生產地臺中が第一位で、砂糖主產地の臺南が第二位を占め以下新竹、高雄、臺北の順位となる

州廳別農業生產總價額

	昭和十一年 千円	百分比例	昭和十年 千円	百分比例	比較（△は減を示す）
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花蓮港	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
澎湖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	△ [illegible]
計	[illegible]	100.0	[illegible]	100.0	[illegible]

尙五大農產の生產數量は左の如くで米が第一位、甘蔗が第二位、甘藷が第三位、以下豚、茶の順位である

五大農產の生產數量並單價

種別	生產數量 昭和十一年	昭和十年	比較增（△は減）	單價 昭和十一年	昭和十年	比較增
米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
甘藷	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
甘蔗	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茶	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豚	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

船腹不足の爲め移出港在米激增

丸糯高の半面にはこの思惑もある

期米の出廻りは其後出廻米の北支移送等に伴つて急激に增加し丸糯は[illegible]……[illegible]

見當は可なり高い値頃であるから前れ上げは別とし實需は一寸途ひ兼ねる値頃であるから天候回復すれば高値反動安に入るべく［illegible］……分に顧を付けてゐる

白双糖逆移入 五千擔に上る

分蜜は伸惱む

……の移出力は蓬萊四百二十万袋乃至四百五十萬袋、丸糯百十万袋乃至二十万袋といふところである……本年四月以降砂糖消費税改正に伴ひ分蜜糖と白双糖の[illegible]……

船舶焚炭値上 廸二圓上げか

炭商側の態度益々强硬

船舶焚料炭は契約更改期に直面して値上げに對する臺灣炭商組合員側の意向は[illegible]……一部は既に交涉開始されてゐる

臺灣農產業の新らしき使命（四）

山地に熱帶作物を栽培せよ

殖產局長嘱託 一番ケ瀨佳雄（寄）

苧麻 苧麻は製品が軍需品として軍事上重要なることは周知のことで、殊に航空機の[illegible]……

其他重要植物 以上は現在奬勵中の特作物の主なるものにつき、之が指標の要綱を行つたのであるが、此の外戰時平時の區別なく……[illegible]

山地開發 即ち平地資源を有する……[illegible]……（つゞく）

年内の發行券膨脹には 限外發行主義で

市場關係から正貨準備は殖さず

臺銀の準備方針

臺銀の發行高は既報の如く十九日一億四百八十三万円と更に大なる膨脹を見せたが、發行當局の觀るところによると……[illegible]

新竹の椪柑檢査 廿九日より增員

椪柑出盛期を控へて府檢查所では去る十九日より本所直に檢査員三名の增員を受け……[illegible]

銅の使用も制限

けふ府報で公布さる

銅使用制限に關する府令は二十五日附府報で公布されるが總督府當局では井田商工課長談の形式を以て次の如く發表した（本紙附錄府報參照のこと）本日公布即日施行されることとなつた府令第一五九號は昭和十二年……[illegible]

丸糯蓬萊續騰

【神戶二十四日發本社特電】定期高に丸糯の騰勢尙やまず……[illegible]

國產粉乳時代

森永臺灣ドライミルク會を設置

現下の非常時局に際し乳製品には輸出入許可制が實施せられ外國製乳製品は殆んど輸入杜絕の狀態となつて居るが……[illegible]

期米新高値に 丸糯は狂騰

安値から二圓五錢高

蓬萊は在庫增で伸惱

休日中二十四日六十錢安で保合つた丸糯は地合良化し天候不良と期米の新高値を眺めて新規の買物が殺到……[illegible]

北送米殺到で倉庫は滿腹

高雄は比較的少し

基隆米穀倉庫の移出米收容力は常時は三十万袋で……[illegible]

蓬萊丸の代船熱河丸 十二月一日基隆入港

大阪商船の内臺定期航路蓬萊丸は中國航路支那事變の爲め……[illegible]

內外商況欄（廿四日着電）

期米 渡米蒐集難に新値 後場俄然反動安

【大阪二十四日發同盟】堂島米況前場……[illegible]

堂島雜觀

……[illegible]

米界餘聞

……[illegible]

砂糖 外糖安に嫌氣手詰

……[illegible]

肥料 神戶豆粕後場 / 神戶硫安相場 / 神戶穀肥市中相場

……[illegible]

絲況 大阪綿絲前場 / 大阪綿絲後場 / 大阪棉花後場 / 大阪人絹後場 / 橫濱生絲後場

……[illegible]

大阪重要商品

……[illegible]

島內商況 正市 暴騰暴落 波瀾演ず

……[illegible]

臺灣正米市後場

臺米現物相場

外電（廿三日發廿四日着）

シカゴ小麥 / 紐育砂糖 / 倫敦砂糖 ……[illegible]

株式 國際關係懸念乍ら雜株高に人氣贏り

兜町前場況 【東京二十四日發同盟】……[illegible]

東京短期後場 / 大阪短期後場 / 大阪長期後場

……[illegible]

北濱展望

……[illegible]

財界株界

【東京二十四日發本社特電】米株が……[illegible]

白鶴

防衛團に竹腰の國防服

內科 小兒科 樋詰醫院 本町二丁目 電話[illegible]

內科 小兒科 呼吸器病 淺井病院 臺北市[illegible] 入院隨意 電話[illegible]

有價證券賣買 三和證券 臺北市京町二丁目 電七〇九七番 臺中市榮町三丁目 電一二三五番 一七八番

ダンダンは風の妙藥 發賣元 信生堂藥舖 大木合名會社 大阪市 同支店 各藥店にて取扱ふ

臺灣銀行 昭和十二年十一月廿四日

臺灣軌道株式會社 名義書換停止

大阪商船 / 近海郵船 / 國際汽船 / 大連汽船 / 丸一組 / 永井 …… [illegible]

外交を革新せよ　河合榮治郎

十二月號發賣　價一圓

中央公論

「金」の國有を即時斷行せよ・三宅晴輝

歐洲政治家回顧の秋・竹越與三郎

戰爭の社會學・杉森孝次郎

時勢に泛ぶ科學者群・馬場鐵山

兵役税論・和田日出吉

雪　雜記・中谷宇吉郎

火の話・出隆

二笑亭綺譚・式場隆三郎

主將と幕僚・水野廣德

立志傳・澁澤秀雄

陸軍建設の三人・佐渡愛三

若き未亡人の爲に・森田たま

プレート六年の回顧・若原正藏

上海の女・榊山潤

ダルマ船日記・山之口貘

街の人物評論（林房雄・高田保・津村秀夫・阿部眞之助・大宅壯一）

時局隨想・藤山愛一郎

千萬人と雖も我行かん・久板榮二郎

小說　雪　柳・泉鏡花

病中吟・木下尚江

老いたる虎の歌・室生犀星

川端康成論・中村光夫

映画時評・大森義太郎

船川義介の滿洲進出・安藤楠太郎

外交雜感・有田八郎

我的生活・馮玉祥

★文化の國民的・世界的性質・長谷川如是閑

九國條約と世界安定の問題・大澤章

抗日全軍將兵に告ぐ・蔣介石

日獨伊防共協定の意義・鹿島守之助

二つの世界的動きと西班牙內亂・岡本鶴松

南京政府の沒落・米內山庸夫

蔣介石獨裁の動搖・吉岡文六

支那民衆組織と國共對立・濱田峰太郎

ソ聯はどれだけ支那を援助したか・畠山長三

（俳句）志田素琴（短歌）臼井大翼

支那人と戰爭・パール・バック

宇垣と末次・岩淵辰雄

松岡洋右と十河信二・山浦貫一

近衞內閣の改造・細川隆元

內閣制度の變改・佐々弘雄

大本營論　宮澤俊義

ネオ肝精

服用容易　肝油精劑　創肝臓・牛胆汁配合　發明特許

結核　貧血　胃腸

藥學博士　西崎弘太郎先生創製　「新榮養讀本」無代進呈

定價	低廉
二〇〇錠	二・〇〇
一〇〇〇錠	六・〇〇
三〇〇錠	一五・〇〇

各藥店にあり

製造元　株式會社北海水產工業研究所

發賣元　株式會社藤澤友吉商店　大阪市東區道修町　東京日本橋區本町

NK18

文藝春秋

十二月特別號　特價六十錢

事變と國際相克座談會

小島精一　高垣寅次郎　三輪壽壯　松本忠雄　円谷弘

出席者：大西齋・鹿島守之助・楢山愛太郎・小島精一・五來欣造・高木陸郎・松本忠雄

日本經濟の全面的統制

金になやむ國際經濟

戰時と勞働力の問題

華府會議以後の日支外交

支那社會の特質と戰後工作

滿鐵後退の意義・伊藤好道

鮎川滿洲に乘出す・岩井良太郎

大英帝國の焦躁

九國會議と米英露佛

戰時體制下の一年・關口泰

ローマ法王とカンタベリ僧正・千成標一

江南の大追擊戰・小坂英一

北支日本色・岸田國士

察南敗退記・長江

孫子とクラウゼウィッツ・大場彌平

●東京・伯林・羅馬樞軸の嵐・M・Y・S

●防共協定と愛國行進曲・M・S・N

宗教家は何をしてゐる・上司小劍

南京の秋別・高淺霞

今樣北支風土記・竹內夏積

ボロチン會見記・鷲澤興四二

一日本國民として…鏡味幸之助

認識を深めよ…M・T・生

迷忠告なるかな…吉本遠人

●話の屑籠・菊池寬

日本の評判　蘇聯情報其他獨特讀物滿載

一學徒の獨白・蠟山政道

「大地」讀後感・馬場恒吾

特別附錄　南支攻略詳圖

短歌　秋霜・土田耕平　萬里長城・村野次郎

俳句　冬七句・秋山梓月　秋・松根東洋城

小說　玩具の勳章・岡田三郎

正夫の世界・豐島與志雄

酒中日記・田中貢太郎

日本語の不自由さ・荻原朔太郎

隨筆

青井さんの思ひ出・久保田萬太郎

吾田萬年先生を憶ふ・松林桂月

上支那香水・久米正雄

戰一勝に語る・古城胤秀

北約昔ばなし・堀口大學

節をつくる・戶川秋骨

隨筆を書く・三宅周太郎

物質の好い事・北原白秋

(その他 隨筆多數)

大本營論

大本營と內閣

南京に日章旗のひるがへつた後を思へ。國の貪婪とソ聯の狡猾に對して我等は覺悟をせねばならぬ。此の「その後」に來る時狀態に對し永久的大本營制定の意味があると信ずる!!

中野正剛

城南隱士

東京市麴町區內幸町大阪ビル　文藝春秋社發行　振替東京七一〇六〇